「ならやま」
の
野の花

奈良・人と自然の会

は じ め に

私たち、奈良・人と自然の会のメンバーが日ごろ活動している「ならやま」地域は、ベースキャンプを核に、雑木林、竹林、畑地、水田、ため池、サイクル道など変化に富んだ景観が形成され、いろいろな植物が自生し、多くの昆虫が生息し、都会に残されたユートピアとなっています。

蝶をはじめとする昆虫類に関しては、菊川氏がまとめられた貴重な資料があり、多くの種類が確認され、写真集として記録されています。一方、植物に関しては多くの種類が自生しているのは確かではあるが正確な分布調査は行われておらず、少なくとも 200 種くらいはあるのではと推測されていたに過ぎません。

「ならやま」に自生する植物の記録としては、会員の西谷さんや守口さんが活動の合間に自生を確認したリスト（未公開）と記録写真（パンフレットに活用）が残されているに過ぎず、まだ記録されていない種も少なくありません。

「ならやま」で日々活動する折に目にする植物が何と言う名前なのだろうか？と思ったときの手引きになる物があると便利だなと言う声もあり、2017 年ころから草花の写真をぼつぼつと撮り始めました。しかしなかなか全ての種類を確認・同定し、撮影するのは難しい作業です。現段階で集まった写真を基に資料としてまとめ、ホームページに掲載しましたのでご活用くださると幸いです。

なお、今後の調査によって新たに見つかる植物も予想されますが、これらについては順次追加として取り上げてゆくつもりです。

2019 年 4 月にとりまとめましたが、その後あらたに見つかった種が 23 種あり、2019 年 10 月に追加改定しました。

まとめるにあたり、当会の多くの方々の情報提供とアドバイスがあったことに厚く感謝します。

追記

2019 年４月に「見つけよう自然のなかまーならやまの昆虫と植物たち」という冊子が発行されました。子供たちを対象とした写真集で分かりやすく解説しておりますので、併せてご覧ください。

2019 年 10 月

使用にあたって

掲載した種類

野の草花が中心ですが、分類上樹木であっても草花のような感じの樹木は含めました。とくに蔓植物に関しては取捨選択に迷い、かなり身勝手な選択になりました。

写真は花を基本としましたが、葉の方が分かりやすい種は葉にしました。

取り上げた植物の配列は、原則として科単位に五十音順に並べましたが、所属する科の植物を一纏めにするために若干前後させました。

取り上げた地域

私たちの活動する「ならやま」地区全体（ベースキャンプ、サイクル道、彩の森、実りの森、佐保自然の森）で、山林、竹林、畑地、水田、湿地、ため池などです。

その他

各植物の解説で、多い、少ないなどの記述がありますが、これは「ならやま」地区での自生状態で、日本全体から判断したものではありません。とくに外来植物では今はわずかであっても近い将来増加することでしょう。

ラン科植物など一部の希少植物は保護の観点からここには掲載しておりません。

イグサ科、イネ科、ガマ科、カヤツリサ科、トクサ科は別グループとしてまとめました。

なお、植物が所属するグループ（科）の植物のみを見たい方は、科単位で保管されている別資料を見てくださった方がよいかと思います。

種名の同定は、植物図鑑を参考にして私たちが判断したので同定誤りもあるかと思います。もし気づかれたらご指導くださるようお願いします。

目　次

アカザ科 ———— 1
アカネ科 ———— 1
アカバナ科 ———— 2
アケビ科 ———— 3
アブラナ科 ———— 3
アヤメ科 ———— 4
イチヤクソウ科 ———— 4
イラクサ科 ———— 5
ウキクサ科 ———— 6
ウリ科 ———— 5
オオバコ科 ———— 6
オトギリソウ科 ———— 6
ガガイモ科 ———— 6
カタバミ科 ———— 7
キキョウ科 ———— 7
キク科 ———— 8
キツネノマゴ科 ———— 7
キョウチクトウ科 ———— 8
キンポウゲ科 ———— 17
クワ科 ———— 16
ケシ科 ———— 16
ゴマノハグサ科 ———— 18
サクラソウ科 ———— 19
サトイモ科 ———— 20
シソ科 ———— 20
シュウカイドウ科 ———— 22
スイカズラ科 ———— 22
スベリヒユ科 ———— 22
スミレ科 ———— 22
セリ科 ———— 24
タデ科 ———— 25
ツヅラフジ科 ———— 23
ツユクサ科 ———— 28
ツルナ科 ———— 28
トウダイグサ科 ———— 29
ドクダミ科 ———— 29
トチカガミ科 ———— 27
ナス科 ———— 29
ナデシコ科 ———— 30
バラ科 ———— 33
ヒガンバナ科 ———— 34
ヒユ科 ———— 32
ヒルガオ科 ———— 34
フウロソウ科 ———— 35
ブドウ科 ———— 35
ベンケイソウ科 ———— 36
マメ科 ———— 36
ミズアオイ科 ———— 36
ミツガシワ科 ———— 41
ムラサキ科 ———— 41
ヤマゴボウ科 ———— 41
ヤマノイモ科 ———— 41
ユキノシタ科 ———— 41
ユリ科 ———— 42
ラン科 ———— 43
リンドウ科 ———— 43

イグサ科 ———— 50
イネ科 ———— 44
ガマ科 ———— 54
カヤツリグサ科 ———— 51
トクサ科 ———— 54

シロザ（白藜）　アカザ科

草丈は 0.6～1.5m。若い頃は三角形の葉だが、草丈が伸びると細長い三角形となる。花は淡緑色で密集する。花期は 9～10 月

ゴウシュウアリタソウ（豪州有田草）　アカザ科

草丈は 30～40cm。地表面を這うように広がる。葉は長さ 1～2.5cm で周りは波型。花は淡黄緑色。花期は 7～９月。

ハシカグサ（麻疹草）　アカネ科

草丈は 20～40cm。茎の枝分かれの部分から根を下ろす。葉のつけ根に小さな白色の花をつける。花期は 8～10 月。

ヤエムグラ（八重葎）　アカネ科

他の植物に寄り掛かって伸び、6～8 枚の葉が輪状につく。茎には下向きの棘があり衣服にくっつく。花は黄緑色。花期は 5～7 月。

ヘクソカズラ（屁糞蔓）　アカネ科

つる性で茎や葉をもむと嫌な臭いがする。花は白色で中央が赤く、その形がお灸の跡に似るからヤイトバナとも言う。花期は 8～9 月。

ヒメヨツバムグラ（姫四葉葎）　アカネ科

ヤエムグラの小型版で、地面を這うように広がる。花は淡黄緑色で目立たない。道ばたに生えている。花期は 5～6 月。

ツルアリドオシ（蔓蟻通し）　アカネ科

つる性の小低木。葉の基部に柄の長い白色花をつける。花後、赤橙色の球状の果実ができる。樹林内に自生する。花期は 6～7 月

アカバナ科

ヒルザキツキミソウ（昼咲月見草）

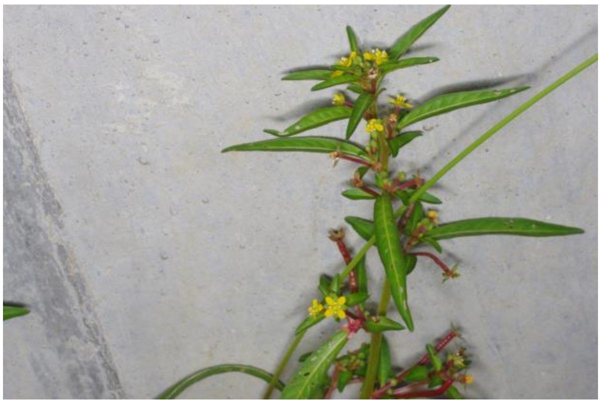
草丈は 30～50cm。ピンク色の 4 弁花をつけ、昼間に開花する。園芸種が野生化した。

花期は 6～8 月。

ユウゲショウ（夕化粧）　アカバナ科

草丈は 20～60cm、よく目立つ紅色の花をつける。元は園芸種だったが逃げ出して野生化した。花期は 3～6 月。

チョウジタデ（丁字蓼）　アカバナ科



草丈は 20～90cm で水田や湿地に生える。黄色の小さな花をつけるが、花後の淡紅色の長い子房がよく目立つ。花期は 7～9 月。

ヒレタゴボウ（鰭田牛蒡）　アカバナ科

草丈は 1 m に達し、水田や湿地に生え、先端に黄色の花をつける。茎にはヒレがある。

花期は 7～9 月。

メマツヨイグサ（雌待宵草）　アカバナ科

黄色の花を次々につけて咲き上る。草丈は高く、30～150cm。夜咲きだが、午前中は開いている。花期は 7～9 月。

コマツヨイグサ（小待宵草）　アカバナ科

　根元から枝分かれして四方に広がる。葉は羽状に裂けるが変化あり。花は黄色でしぼむと黄赤色になる。花期は 6～8 月。

タネツケバナ（種漬花）　アブラナ科

　草丈は 10～30cm。葉は羽状に裂け、茎の先に白色の花をつける。茎にも葉がつく。湿地に多い。花期は 3～5 月。

ミチタネツケバナ（道種漬花）　アブラナ科

　タネツケバナによく似るが、小葉は楕円形で、茎にはほとんど葉がつかない。やや乾いたところに自生する。花期は 2～3 月。

ナズナ（薺）　アブラナ科

草丈は 10～30cm。ロゼット型で、茎が立ち上がり、先端に白い花をつけ、三角形の果実ができる。春の七草のひとつ。花期は 3～6 月。

ミツバアケビ（三葉木通）　アケビ科

　つる性の木本。葉は 3 小葉からなり、周囲は波形。花は黒紫色で、房状につく。
　花期は 4～5 月。

アケビ（木通）　アケビ科

　つる性の木本。葉は楕円形の 5 小葉からなる。花は淡紅色で、秋に大きな果実がなる。
　花期は 4～5 月。

イヌガラシ（犬辛子）　アブラナ科

草丈は 10～50cm。葉は長楕円形で周囲には鋸歯がある。茎の先に黄色の花をつけ、果実の莢は長い線形。花期は 4～9 月。

カラクサナズナ（唐草薺）　アブラナ科

外来植物で草丈は 10～50cm。根元から枝分かれし、切れ込みの葉をつける。直径 1mm の円盤状の種をつける。花期は 3～８月。

アヤメ科
ヒメヒオウギズイセン（姫檜扇水仙）

高さ 50～80cm の先にダイダイ色の花をつける。園芸種が野生化し、球根と種で増え問題となっている。花期は 6～8 月。

ニワゼキショウ（庭石昌）　アヤメ科

草丈は低い。葉は細くて根元から四方に分岐する。花柄を伸ばして先に淡紫色の花をつける。果実はボール状。花期は 5～6 月。

シャガ（射干）　アヤメ科

草丈は 50～60cm。林の中の日陰にはえ、子づるを伸ばして増える。直径 5～6cm の淡青紫色の花をつける。花期は 4～5 月。

イチヤクソウ科
イチヤクソウ（一薬草）

林内に生え、円形の大きな葉をもつ。20cm ほどの花茎に 5～10 個の白色の花をつける。少ない。花期は 6～7 月。

アオミズ（青みず）　　　　　　イラクサ科

湿ったところに自生する。草丈は30～50cm。葉は柔らかく鋸歯がある。葉柄の基部に淡緑色の花。花期は7～10月。

ヤブマオ（藪苧麻）　　　　　　イラクサ科

草丈は 0.8～1.2m。やや厚い大きな葉で、短い毛を密生する。葉柄の基部から淡緑色の花穂が伸びる。花期は8～9月。

カラスウリ（烏瓜）　　　　　　ウリ科

つる植物で、夕刻、花弁の先がレース状に細かく裂けた花をつけ、朝にはしぼんでいる。
花期は8～9月。

（カラスウリ）

果実は長さ 5～7cm で楕円形。はじめは緑色であるが、しだいに黄色、赤色と変化する。

スズメウリ（雀瓜）　　　　　　ウリ科

つる植物で、三角形の葉をつけ巻きひげで他の植物にからまる。花は白色で星形。
花期は8～9月。

（スズメウリ）

果実は直径 1～2cm、やや長めの球形。はじめは緑色だが、熟すると灰白色になる。

ウキクサ（浮き草）　　　　ウキクサ科

水田の水面に浮かぶ。葉のつけ根から根を水中にのばす。小さい葉はアオウキクサ。花は小さくて肉眼では見えない。

ヘラオオバコ（箆大葉子）　　オオバコ科

葉は細長くて先は尖る。葉にはほとんど毛がない。花茎は 20～70cm で穂状に白い花をつける。花期は 6～8 月。

ツボミオオバコ（蕾大葉子）　オオバコ科

葉は細長くて先は尖る。葉や葉柄には短い毛が密生する。花茎は 3～15cm で穂状に花をつけるが目立たない。花期は 5～6 月。

オトギリソウ（弟切草）　　オトギリソウ科

草丈は 30～50cm。葉は楕円形で、明るい所に生える。茎の先端で枝分かれして黄色の 5 弁の一日花をつける。花期は 7～9 月。

オオバコ（大葉子）　　　　オオバコ科

葉も花茎も地際の株の中心部から伸びだす。花茎は高さ 10～20cm で、小さな白い花を穂状につける。BC で爆発的に増加。花期は 4～9 月。

ガガイモ（鏡芋）　　　　ガガイモ科

つる性で長い心形の葉（長さ 5～10cm）をつける。内面に白い毛のある淡紫色の花をつける。花期は 8 月。

カタバミ（傍食）　　　　カタバミ科

草丈は 10～30cm。地面を這って広がる。茎や葉にはシュウ酸を含む。葉は緑色と赤褐色の 2 タイプがある。花は黄色。花期は 5～9 月。

カタバミ科

オッタチカタバミ（おっ立傍食）

カタバミによく似ている。草丈は 10～50cm、茎はすべて地中に伸びている根茎から立ち上がる。花は黄色。花期は 5～7 月。

ムラサキカタバミ（紫傍食）　カタバミ科

葉と花はすべて地際から伸び、花茎の先に数個の紅紫色の花をつける。おしべの先は白色で、地下にたくさんの鱗茎ができる、花期は 5～7 月。

キツネノマゴ（狐の孫）　キツネノマゴ科

草丈は 10～40cm。茎や葉には短い毛がある。茎の先に淡紅紫色の花を穂状につける。
花期は 8～10 月。

ホタルブクロ（蛍袋）　　　キキョウ科

草丈は 30～80cm。葉や茎には短い毛がある。花は白色と淡紅紫色がある。自生地は一か所。花期は 6～7 月。

ツリガネニンジン（釣鐘人参）　キキョウ科

高さ 0.5～1m。茎の先に釣鐘のような青紫色の花をつける。根は太くて白く朝鮮人参に似る。花期は 8～10 月。

キキョウソウ（桔梗草）　キキョウ科

草丈は 30～80cm。株元で枝分かれし立ち上がる。花は紫色で、葉とともに柄がなく茎に直接つく。花期は 5～7 月。

ノヂシャ（野萵苣）　キキョウ科

草丈は 50cm 前後、茎は二股の分かれを繰り返して伸びる。茎の先に淡青色の小さな花をかためてつける。湿地に自生する。花期は 5～6 月。

トキンソウ（吐金草）　キク科

長さ 10mm 前後の小さな葉がぎっしりとつき、地面を這うように広がる。葉のわきに黄緑色の花がつく。花期は 7～11 月。

ツルニチニチソウ（蔓日日草）　キョウチクトウ科

半つる性の多年草。葉質は厚く、茎を切ると白い乳液が出る。筒形の花で花冠は紫色で 5 つに裂ける。花期は 4～7 月。

メリケントキンソウ（米利堅吐金草）　キク科

危険な外来植物。草丈は 5～10cm、地面を這って広がる、ベースキャンプに自生。花は淡黄色、果実には鋭いトゲがある。花期は 4 ～5 月。

ペラペラヨメナ（ペラペラ嫁菜）　キク科

茎は木質化している。基部から細かく枝分かれして横に広がる。茎の先端に白色または淡赤色の花をつける。花期は 4～10 月。

カンサイタンポポ（関西蒲公英）　キク科

早春から開花する。ロゼット型で地際から葉と花茎がでる。在来種でセイヨウタンポポ（帰化植物）に圧倒されている。

キク科

カンサイタンポポ

セイヨウタンポポ

総苞片の反り返りの有無で見分けは簡単。花期はカンサイタンポポが 4~5 月に比べて、セイヨウタンポポは 3~9 月で真冬でも見かける。

ノゲシ（野罌粟）　キク科

草丈は 50～100cm。茎は太くて中空。タンポポに似た黄色の花をつける、茎が伸びるので見分けは簡単。花期 4~7 月

オニノゲシ（鬼野罌粟）　キク科

花はハルノゲシに似るが、葉は緑色が濃く、周りがアザミのように尖り、触ると痛い。
花期は 5～10 月。

オニタビラコ（鬼田平子）　キク科

草丈は 20～80cm。葉はタンポポのように地上に放射状にへばりつくように広がり、花茎の先に多くの花がかたまる。花期は周年。

コオニタビラコ（小鬼田平子）　キク科

ロゼット状で、根生草の間から 4～20cm の花茎をのばす。花は黄色。春の七草のホトケノザ。少ない。花期は 3～5 月。

ヤブタビラコ（藪田平子）　キク科

草丈は 30cm。コニタビラコに似るが、葉は少し立ち上がり、柔らかい。開花後、花は卵形に膨らむ。花期は 4～6 月。

ベニバナボロギク（紅花襤褸菊）　キク科

草丈は高く、0.5～0.8m。花びらは小さく、赤レンガ色で、花の頭は垂れ下がる。
花期は 8～12 月。

ヒメムカシヨモギ（姫昔蓬）　キク科

草丈は高く、0.5～1.5m。小さな白い花びらが頭花の周りに並ぶ。
花期は 8～10 月。

オオアレチノギク（大荒れ地野菊）キク科

ヒメムカシヨモギ　　オオアレチノギク

ヒメムカシヨモギに類似するが、白い花びらがない。花期は 8～10 月。

ヒメジョオン（姫女苑）　キク科

草丈は高く、0.5～1.3m。花の中央部は黄色で花びらは白色。葉の基部は茎を抱かない。
花期は 7~10 月。

ハルジオン（春紫苑）　キク科

ヒメジョオンに類似するが、つぼみの時は頭の先がうなだれる。茎を切ると中空。葉の基部は茎を抱く。花期は 5～7 月。

ヘラバヒメジョオン（箆葉姫女苑）　キク科

ヒメジョオンに類似しているが、葉はヘラ形で周りに鋸歯がない。葉上の毛もごくわずか。
花期は７～9 月。

ブタナ（豚菜）　キク科

タンポポに似た黄色の花をつける。花茎は堅く長く伸び、50cm を超え、枝分かれする。
花期は６~９月。

キツネアザミ（狐薊）　キク科

草丈は 60～90cm。枝分かれした先端に紅紫色の花をつける。葉は柔らかく羽状に裂け、棘はない。花期は 5～6 月。

ノアザミ（野薊）　キク科

草丈は 60～100cm。枝分かれした先端に紅紫色の花をつける。葉には尖った棘がある。
花期は 5～8 月。

ダンドボロギク（段戸襤褸菊）　キク科

草丈は高く、0.5～1.5m。花びらは淡黄色で、開花後は白色の綿状の冠毛をつける。
花期は８～10 月。

タカサブロウ（高三郎）　キク科

草丈は 20～60cm。茎はよく枝分かれし、先端に白色の花をつける。水田の畔など湿地に多い。花期は 7～11 月。

コウゾリナ（髪剃菜）　　　　キク科

タンポポに似た黄色の花をつける。草丈はやや高く、0.2～0.9m。茎や葉に剛毛がある。
花期は 5～10 月。

ブタクサ（豚草）　　　　キク科

草丈は 0.3～1.5m。羽状に切れ込んだ葉をもつ。長い花穂の周りに淡黄色の花がたくさんつく。花期は 8～10 月。

アメリカセンダングサ（亜米利加栴檀草）　キク科

黄色の花をつけるが花びら（舌状花）はない。草丈は高く 0.5～1.5m。茎は紫褐色をおびる。
花期は 9～10 月。，

オオブタクサ（大豚草）　　　　キク科

草丈は 1～2.5m。葉は大きく、手のひら状に 3～5 裂する。雄花の穂が長く突き出す。雌花は穂の基部につく。花期は 8～10 月。

センダングサ（栴檀草）　　　　キク科

草丈は 50～100cm。黄色の花をつけ、5 枚の花びら（舌状花）がある。
花期は 9～10 月。

コセンダングサ（小栴檀草）　　　キク科

黄色の花をつけるが花びら（舌状花）はない。草丈はやや高く 0.5～1.1m。
花期は 9～11 月。

ノボロギク（野襤褸菊）　キク科

草丈は 10～30cm。枝分かれした茎の先端に黄色の筒状花をつける。葉は柔らかく、細かく裂け、キクナに類似する。花期は周年。

チチコグサモドキ（父子草擬）　キク科

草丈は 10～30cm。葉はへら形で、両面に白い綿毛が多い。小花は淡褐色でかたまってつく。花期は 6～9 月。

ハハコグサ（母子草）　キク科

草丈は 15～30cm。株全体が綿毛に包まれ、黄色の花をボール状につける。春の七草のひとつ（ゴギョウ）。花期は 4～6 月。

チチコグサ（父子草）　キク科

ロゼット状の根元の葉は花時でも残る。草丈は 8～20cm。葉は細長く、茎は地表面を這って広がる。花期は 5～6 月。

タチチチコグサ（立父子草）　キク科

チチコグサモドキに似るが、葉は細長くて幅は 3～5mm で葉先はとがる。草丈は 10～30cm。花期は 6～9 月。

ウラジロチチコグサ（裏白父子草）　キク科

葉の裏が真っ白。葉はへら状で花茎が高く立ち上がり、花は淡褐色で目立たない。花期は 6～8 月。

キク科

オオジシバリ（大地縛り）　キク科

タンポポに似た黄色の花をつける。葉はヘラ状楕円形。細長い茎が地上に広がり、花茎がたちあがる。花期は 4～5 月。

セイタカアワダチソウ（背高泡立草）

草丈は非常に高く 2m に達する。大きな円錐形の花序に黄色の花をいっぱいつける。空き地の厄介者。花期は 10～11 月。

ジシバリ（地縛り）　キク科

オオジシバリによく似ているが、葉は円形～だ円形。細長い茎が地面を這い、所所で根をおろす。花期は 4～7 月。

ニガナ（苦菜）　キク科

草丈は 30～40cm。葉は細長く、葉の基部は花茎を抱くようにつく。花びらは 5～7 弁からなる。花期は 5~7 月。

ハキダメギク（掃溜菊）　キク科

径 5mm の小さな白い下状花をつける。高さ 10～40cm で、葉は幅広で毛が多い。
花期は 4～10 月。

コメナモミ　キク科

草丈は 50～80cm。葉は卵円形で、立毛はなく無毛のように見える。茎の先端に黄色の花をつける。花期は 9～11 月。

キク科
アキノキリンソウ（秋の麒麟草）

草丈は 30～80cm。葉は細長く、茎の先端に黄色の花が下から咲きあがる。衰退中。
花期は 8～10 月。

ヒヨドリバナ（鵯花） キク科

紫色を帯びた白色の小さな花が先端部にかたまって咲く。草丈は高く、1～2m。林縁部に見られる。花期は 8～10 月。

シロバナニガナ（白花苦花） キク科

紫色を帯びた白い花をつける。葉は小さくて目立たない。2013 年に確認したのみ。
花期は 4～5 月。

ヨモギ（蓬） キク科

草丈は 0.5～1m。羽状に細かく切れ込んだ葉をもつ。花は淡褐色。葉には独特の香りがあり草餅の材料。花期は 9～10 月。

ホウキギク（箒菊） キク科

茎は直立し白色の小さな花をたくさんつける。草丈は高く 0.5～1.2m。
花期は 8～9 月。

コウヤボウキ（高野箒） キク科

草本のようであるが小低木。葉は卵形で 1 年枝の先端に白色の頭花をつける。日当たりのよい林内に自生する。花期は 9～10 月。

フキ（蕗） キク科

春先、葉よりも先にフキノトウと呼ばれる花茎をのばし、白色の花（雌花）をつける。雄花はやや黄色っぽい。花期は 4 月。

ヨメナ（嫁菜） キク科

やや湿ったところに生え、淡紫色の花をつける。高さ 0.5～1.2m だが茎は細く真っすぐには伸びない。花期は 8～10 月。

ムラサキケマン（紫華鬘） ケシ科

草丈 20～50cm、葉は 2～3 回、羽状に裂ける。花軸の周りに淡紫色の筒状の唇形の花を段状につける。花期は 4～6 月。

ナガミヒナゲシ（長実雛芥子） ケシ科

草丈は 15～60cm、葉は細かく裂ける。オレンジ色の 4 弁花をつける。歓迎されざる外来植物。花期は 4～5 月。

カナムグラ（鉄葎） クワ科

つる性で茎や葉柄には下向きの棘がある。他の植物にからみつき広がる。花は小さく淡緑色で目立たない。花期は 9～10 月。

クワクサ（桑草） クワ科

草丈は 0.3～0.8m、桑によく似た葉をつけるが大きさはかなり小さい。葉の付け根に淡緑色の花の塊をつける。花期は 9～10 月。

キツネノボタン（狐の牡丹）　キンポウゲ科

草丈は 30～50cm で水田の畔、湿地などに自生。葉は 3 出複葉、黄色の 5 弁花をつけ、実は金平糖状。花期は 4～7 月。

タガラシ（田辛し）　キンポウゲ科

草丈は 40～50cm で水田に生える。葉は深くき裂する。黄色の 5 弁花をつけ、果実はラクビーボール状。花期は 4～5 月。

センニンソウ（仙人草）　キンポウゲ科

つる性で、葉は 3～7 小葉からなり、3cm 前後の白色の花がたくさんつく。晩秋に羽毛のある種が飛び散る。花期は 8～9 月。

ウマノアシガタ（馬の脚形）キンポウゲ科

草丈は 30～60cm、葉は深く 3 裂または 5 裂する。黄色の 5 弁花をつけ、果実は球形となる。

花期は 4～5 月。

ヒメウズ（姫烏頭）　キンポウゲ科

草丈は 15～30cm と小さい。根元から葉柄をだし 3 小葉に分かれる（オダマキの葉に似る）。花は白色。花期は 3～5 月。

キンポウゲ科

ヒメリュウキンカ（姫立金花）

草丈は 5～10cm。地際から心形葉を四方に広げる。各地で急増中の外来種。ならやまでは見つけしだい処分。花期は 2～3 月。

ゴマノハグサ科

オオイヌノフグリ（大犬の陰嚢）

長い花柄の先に青色の花をつけ、早春から咲く。道ばたに多い。果実がイヌノフグリに似ている。花期：3〜5 月。

ゴマノハグサ科

タチイヌノフグリ（立犬の陰嚢）

青色の小さな花をつけるが、花柄がないので花はあまり目立たない。
花期：4〜5 月。

ゴマノハグサ科

ムラサキサギゴケ（紫鷺苔）

紅紫色の唇形の花をつける。湿地や湿り気のある土地に群生する。這う枝を出して広がる。
花期：4〜6 月。

ゴマノハグサ科

トキワハゼ（常磐はぜ）

花形や色彩はムラサキサギゴケに似るが、上唇のみが紅紫色で下唇は白色。一株ずつ生える。
花期：4〜11 月、

ゴマノハグサ科

タカトアゼナ（タカト畔菜）

小さな淡いピンク色の花を長い花柄の先につける。田の畔や池のほとりにはえる。
花期：5〜７月。

ウリクサ（瓜草）　　ゴマノハグサ科

畑や道ばたにはえ、茎は地をはうように広がる。葉は卵形で中央の脈は明瞭で赤みをおびている。花は小さく、淡紫色。花期は 8〜10 月

キクモ（菊藻） ゴマノハグサ科

水上には菊のように深く切れ込んだ葉をつけ水中には糸状の葉をつける。花は紅紫色。衰退している。　花期は 8～10 月。

ムシクサ(虫草) ゴマノハグサ科

水田に生えるが、葉は小さく、草丈も低く 5～20cm で目立たない。花は白色で果実に虫が寄生することが多い。花期は 4～5 月。

ゴマノハグサ科
マツバウンラン（松葉雲蘭）

草丈は 20～60cm、松葉のような細い葉をつけるが目立たない。立ち上がった茎のまわりに青紫色の唇形の花をつける。花期は 5～6 月。

ゴマノハグサ科
オオカワヂシャ（大川萵苣）

草丈は 30～100cm。葉は楕円形で鋸歯は目立たない。葉のつけ根から花茎を伸

ヌマトラノオ（沼虎の尾） サクラソウ科

草丈は 40～70cm。湿地に生え、葉の幅は 1～1.5cm と狭い。花穂は直立して白色の花をつける。花期は 7～8 月。

コナスビ（小茄子） サクラソウ科

広卵形の葉をつけ地面を這うように広がる。葉のわきに黄色の 5 弁の花をつける。あまり多くない。花期は 5～7 月。

カラスビシャク（烏柄杓）　サトイモ科

地中に小さな球根があり、3 小葉からなる葉茎をのばす。花茎は 20～40cm で炎のような形の緑色の花をつける。花期は 5～8 月

ホトケノザ（仏の座）　シソ科

草丈は 10～30cm。早春から葉のわきに紅紫色の筒状をした唇形の花をつける。上位の葉は茎を左右から抱きかかえる。花期は 3～6 月。

オドリオコソウ（踊り子草）　シソ科

草丈は 30～50cm。半日陰の木陰で群生し、葉の形はシソの葉に似ている。葉の脇に淡白色の唇形の花をつける。花期：4～5 月。

ヒメジソ（姫紫蘇）　シソ科

草丈は 20～60cm。茎の先端の花穂に淡紅紫色の花をつける。茎は四角で、葉には 4～6 個の鋸歯がある。花期は 9～10 月。

キランソウ（金瘦草）　シソ科

淡青色の唇形の花。葉は地面にふたをするように広がるので「ジゴクノカマノフタ」とも呼ぶ。花期：3～5 月。

トウバナ（塔花）　シソ科

草丈は 10～25cm。茎の先端の花穂に小さな淡紅色の花を輪状につけて塔のように咲きあがる。やや湿ったところに多い。花期は 5～8 月。

ヒメオドリコソウ（姫踊り子草）　シソ科

草丈は 10～25cm。葉のわきに暗紅色の唇形の花をつける。上部の葉は暗紅色を帯びる。

花期は 4～5 月。

タツナミソウ（立浪草）　シソ科

草丈は 20～40cm で、茎の先に一方向に向いた唇形の青紫色の花をつける。生息地は局限され少ない。花期は 5～6 月。

イヌコウジュ（犬香需）　シソ科

草丈は 20～60cm。ヒメジソに似るが花は小さい。茎全面に細かい毛があり、葉には 6～13 個の鋸歯がある。花期は 9～10 月。

オランダハッカ（和蘭薄荷）　シソ科

草丈は 30～50cm。茎の切り口は四角形で幅広の楕円形の葉をつける。ハッカと同じような香がある。花期は 7～9 月。

アキノタムラソウ（秋の田村草）　シソ科

草丈は 20～40cm。淡紫色の花が花穂に輪状につく。林縁部に生える。

花期は 8～11 月。

カキドオシ（垣通し）　シソ科

草丈は 5～25cm。葉の脇によく目立つ淡紫色の花をつける。蔓性で倒れたところから根をおろす。花期は 4～5 月。

スイカズラ（吸い葛）　　　　スイカズラ科

つる性の小低木で、冬も枯れない。夕方、香りの強い花をつける。開花当初は白色、のちに黄色になる。花期は 5～6 月。

スベリヒユ（滑り莧）　　　　スベリヒユ科

楕円形で光沢の多肉性の葉をつけ、茎は赤褐色で地面を這う。花は黄色の小さな花。
花期は 7～9 月。

シュウカイドウ科
シュウカイドウ（秋海棠）

草丈 60cm くらいになり、柔らかい大きな葉をつける。ベゴニアに似た紅色の花を茎の上部につける。少ない。花期は 8～9 月。

スミレ（菫）　　　　スミレ科

紅紫色の大きめの花をつける。葉は長く、上と下で幅は変わらず、葉柄にはヒレがある。
花期は 4～5 月。

シハイスミレ（紫背菫）　　　　スミレ科

株はやや小型で、紅紫色の目をひく花をつける。葉の裏は紫色を帯びる。樹林地に多い。
花期は 5～7 月。

ノジスミレ（野路菫）　　　　スミレ科

スミレに似るが、花の大きさはやや小さく、花色はやや淡い。葉には細かい毛が密生し、花柄のヒレも目立たない。花期は 4 月。

アリアケスミレ（有明菫）　スミレ科

白色の花をつける。葉は長細くてスミレに類似する。

花期は 4～5 月。

ニオイタチツボスミレ（匂立坪菫）　スミレ科

ハート形の葉をつける。花は大きく、紅紫色でよく目立つ。花は良い香りがする。

花期は 4～5 月。

ナガバノタチツボスミレ（長葉の立壷菫）　スミレ科

下位の葉はハート形だが、上位の葉はやや長めの葉。淡紫色の花をつける。林地内に多い。

花期は 4～5 月。

タチツボスミレ（立坪菫）　スミレ科

ハート形の葉をもち、淡紫色の花をつける。ツボスミレとともに最も普通種。

花期は 4～5 月。

ツボスミレ（坪菫）　スミレ科

花は小さく、白色で紫色のすじがある。ハート形の葉をつける。やや湿った所に多い。

花期は 4～5 月。

アオツヅラフジ（青葛藤）　ツヅラフジ科

落葉性のつる植物。葉質はやや厚く、浅く 3 つに分かれ、先は丸まる。球形の青色の実が房状にかたまってつく。花期は 7～8 月。

チドメグサ　　　　　　　　　セリ科

葉の直径は１～1.5cm、周りは浅く切れ込む。茎は地面を這って広がりる。花は淡緑色で金平糖状にかためてつく。花期は 6～10 月。

オオチドメ（大血止）　　　　　セリ科

直径 1.5～3cm の丸い葉をつけ、地面を這うように広がる。葉の周りには切れ込みがある。花は淡緑色で目立たない。花期は 6～9 月。

ヤブジラミ（藪虱）　　　　　　セリ科

草丈は 30～70cm。葉は 2～3 回羽状に裂けて深く切れ込む。オヤブジラミに比べ開花時期が遅い。花期は 5～7 月。

（ヤブジラミ）

果実は枝の先に 4～10 個かたまってつく。花柄が短いので果実はくっつきあう。

オヤブジラミ（雄藪虱）セリ科

草丈は 30～70cm。ヤブジラミよりも葉は細かく羽状に裂ける。花は白色でパラパラとつける。花期は 4～5 月。

（オヤブジラミ）

果実は一か所に 3～6 個つき、花柄は長い。果実が熟すると紫色をおびる。

ミツバ（三葉）　セリ科

草丈は 30～60cm、葉は 3 小葉からなる。日陰に自生し、小さな白色の花をつける。香りが強い。花期は 6～8 月。

セリ（芹）　セリ科

草丈は 25～50cm。湿地に自生し、春の七草のひとつ。葉は 3 つに分かれ、花柄の先に白い花をつける。花期は 7～8 月。

スイバ（酸い葉）　タデ科

地際の葉は長楕円形で長さ 10cm と大きく、長い柄がある。葉の基部は矢じり形。酸味があることからスカンポとも呼ばれる。

（スイバ）

草丈は 30～100cm。茎の先端に緑色の小さな花が群がる。

花期は 5～6 月。

ギシギシ　タデ科

草丈は 40～100cm。上方の葉は柄がなく、茎に密着する。緑色の花が輪状に群がる。果実の先は三角形に尖る。花期は 6～8 月。

ギシギシ（羊蹄）タデ科

地際の葉は楕円形で大きく、赤味を帯びた長い柄がある

アレチギシギシ（荒地羊蹄）　タデ科

草丈は 40～100cm。枝は横に広がる。小さな葉の基部に輪状に小さな花をつける。果実は縁に鋸歯がない。花期は 6～8 月。

イヌタデ（犬蓼）　タデ科

草丈は 30～50cm。茎の先の花穂に紅色の小さな花をびっしりつける。アカマンマとも呼ばれ、道端や野原に多い。花期は 7 ～10 月。

シロバナサクラタデ（白花桜蓼）　タデ科

草丈は 0.5～1m。白色の長い花穂を一茎に数本つけることでサクラタデとは区別できる。湿地に多い。花期は 8～10 月。

ボントクタデ（ぼんとく蓼）　タデ科

草丈は 40～60cm。垂れ下がった花穂に紅色の小花をまばらにつける。葉に黒い斑がある。湿地に多い。花期は 9～10 月。

ヤノネグサ（矢の根草）　タデ科

茎は斜めに立ち、草丈は 20～50cm。葉の基部はほぼ一直線。花柄は赤褐色で 10 個前後の花の塊をつける。花期は 9～10 月。

ママコノシリヌグイ（継子の尻拭い）　タデ科

蔓草で茎には鋭いトゲが下向きにつく。枝先にピンクの花がまるくかたまってつく。
花期は 5～7 月。

タデ科

アキノウナギツカミ（秋の鰻つかみ）

草丈は 20～100cm。白色～淡紅色の小さな花が 10 数個集まってつく。茎には細かいトゲがある。湿地に多い。花期は 8～10 月。

ミズヒキ（水引）　　タデ科

草丈は 50～80cm。細い花穂に小さな赤い花をまばらにつける。葉は幅広く、黒い斑がはいる。花期は 8～10 月。

オオイヌタデ（大犬蓼）　　タデ科

草丈は 0.5～1.5m。葉は長さ 16～23cm で側脈が目立つ。花は淡紅色で花穂は長さ 4～7cm で先が垂れ下がる。花期は 6～10 月。

ミゾソバ（溝蕎麦）　　タデ科

草丈は 30～100cm。淡紅色の花が集まってつく。葉はほこ形で茎にはトゲがある。湿地に多い。花期は 8～10 月。

イタドリ（虎杖）　　タデ科

草丈はやや高く、0.3～1.5m。枝先の花穂に小さな白色の花をつける。新芽は食用になる。花期は 7～10 月

ミズオオバコ（水大葉子）　　トチカガミ科

葉は柔らかく水の中に沈み、白い花のみが水の上に伸びだす。かって池の中に見られたが、今は見つからない。花期は 8～10 月。

クルマバザクロソウ　　　　ツルナ科

ザクロソウに似るが、葉は 4～7 枚ずつ輪生し、横に広がる。葉は光沢は少なく、先の方が少し広まる。花期は 7 ～9 月。

ザクロソウ　　　　ツルナ科

草丈は 10～25cm、葉は 3～5 枚ずつ輪生する。、先端に向かって狭まる。花は小さくて黄緑色。花期は 7～10 月。

ツユクサ（露草）　　　　ツユクサ科

草丈は 20～50cm。2 枚の小さな緑色の葉に包まれるように青色の花をつける。
花期は 6～9 月。

ヤブミョウガ（藪茗荷）　　　　ツユクサ科

草丈は 50～100cm。6～7 枚の長楕円形の葉をつけ、先端に数段にわたって白色の花が咲く。木陰に自生する。花期は 8～9 月。

イボクサ（疣草）　　　　ツユクサ科

草丈は 20～30cm。やや多肉質の葉をつけ、水田や湿地に自生する。葉の際に 3 弁の淡紅色の花をつける。花期は 8～10 月。

ノハカタカラクサ（野博多唐草）　　　　ツユクサ科

斜めにたち、長さ 1m になることもある。葉はツユクサに似るが、花は白色で 3 弁。やや湿った木陰に自生。花期は 5～7 月。

エノキグサ（榎草）　　トウダイグサ科

草丈は 30～50cm。エノキのような葉をつける。葉の基部から赤味がかった花穂を伸ばす。花期は 8～9 月。

コニシキソウ（小錦草）　トウダイグサ科

茎は赤褐色で根元から枝わかれし、地面を這うように横に広がる。葉は小さく、中央に黒い斑紋がある。花期は 8～10 月。

オオニシキソウ（大錦草）トウダイグサ科

草丈は 20～60cm。淡紫色を帯びた茎はやや斜めに伸びる。葉は楕円形で上面は青緑色、下面は白緑色。花期は８～9 月。

トウダイグサ（燈台草）　トウダイグサ科

草丈は 20～35cm。茎の先端に黄緑色の丸い葉が台座のようにつき、同色の杯状の花がつく。花期は 3～4 月。少ない。

トウダイグサ科
ヒメミカンソウ（姫蜜柑草）

草丈は 10cm。畑のわきに生え、茎の基部にミカンのような 2.5mm くらいの実をぶら下げる。花期は 8～10 月。

ドクダミ（蕺草）　　　　ドクダミ科

株全体に特有の悪臭がある。白い花はよく目立つ。民間薬のジュウヤクとして利用される。
花期は 6～７月。

イヌホオズキ（犬酸漿）　ナス科

草丈は 20～60cm。葉は広卵形で周りの切れ込みは弱い。茎の途中から花柄をだし、4～8 個の白色の花をつける。花期は 8～10 月。

アメリカイヌホオズキ（アメリカ犬酸漿）　ナス科

イヌホオズキに類似するが、葉は幅が狭く、周りは凹凸がある。花柄の一点から 2～5 個の紫色または白色の花をつける。花期は 7～9 月。

ホオズキ（酸漿）　ナス科

草丈は 60～90cm で、枝分かれはほとんどなくて直立する。黄色の大きな袋状の実をつける。花期は 6～7 月。

ヒヨドリジョウゴ（鵯上戸）　ナス科

つる性の多年生植物。葉は裂けないものと 3～5 裂するものがある。白色の花をつけ、花後花びらが反り返る。花期は 8～10 月。

マンテマ　ナデシコ科

草丈は 30～50cm。花は白色で一歩に片寄った穂になってつく。

花期は 5～7 月。少ない

ミチバタナデシコ（道端撫子）　ナデシコ科

草丈は 50～80cm。株の基部から何本も茎が直立し先端にピンク色の花をつける。イヌコモチナデシコと同物。花期は 5～6 月。

ノミノフスマ（蚤の衾）　　ナデシコ科

小さな草花で、茎は細く、葉も花も小さい。花は白色で 5 弁花が､深く切れこむので 10 弁にみえる。花期は 4～10 月。

ノミノツヅリ（蚤の綴り）　　ナデシコ科

小さな草花で、茎は細く、葉も花も小さい。白色の 5 弁花で切れ込まない。
花期は 5～7 月。

ミミナグサ（耳菜草）　　ナデシコ科

草丈は 15～30cm。茎は暗紫色を帯び毛がある。葉は暗緑色で両面とも毛がある。白色の 5 弁花をつける。花期は 5～6 月。分布：彩の森

オランダミミナグサ（和蘭耳菜草）　　ナデシコ科

ミミナグサによく似ているが、茎は緑色、葉は淡緑色で毛が長い。全体に白っぽい感じ。何処にでも普通に自生。花期は 4～7 月。

ハコベ（繁縷）　　ナデシコ科

草丈は 10～20cm で地に伏して分枝する。葉は小さく、長さ 1～3cm。茎は淡緑色。花は白色の 5 弁花。花期は 2～10 月。

コハコベ（小繁縷）　　ナデシコ科

ハコベによく似ている。葉はより小さく、長さ 0.5～1cm。茎は紫色を帯びる。
花期は 2～10 月。

ウシハコベ（牛繁縷）　ナデシコ科

ハコベに比べて全体に大型。草丈は 20～50cm。茎は緑色だが、節の付近は紫色を帯びる。花は白色。花期は 4～10 月。

イヌビユ（犬莧）　ヒユ科

茎の先に緑色の花穂をつける。葉の先が少し凹むことでホナガイヌビユと見分けられる。
花期は 7～10 月。

ノハラナデシコ（野原撫子）　ナデシコ科

草丈は 10～30cm。葉は線形で茎の先端に 5 弁の直径 1cm 前後の淡紅色の花をつける。
花期は 5～ 7 月。

ホソアオゲイトウ（細青鶏頭）　ヒユ科

草丈は高く、0.6～2m。花穂は緑色で目立たない花をびっしりとつける。
花期は 7～9 月。

ヒカゲイノコズチ（日陰猪子槌）　ヒユ科

林内、林縁部に生える「ひっつきむし」で、花穂にまばらに種子が並ぶ。
花期は 8～9 月。

ヒナタイノコズチ（日向猪子槌）　ヒユ科

道端や荒れ地に多い。ヒカゲイノコズチに似るが、花穂に種子びっしりとつく。
花期は 8～9 月。

ヘビイチゴ（蛇苺） バラ科

水田の畔などやや湿り気のある所に自生。葉は 3 小葉からなり、蔓を出して広がる。花は黄色で、赤い実がなる。花期は 4～6 月。

ヤブヘビイチゴ（藪蛇苺）

ヘビイチゴに似ているが、果実は大きくて艶がある。また、果実内の粒状の突起にはしわがない。左側がヤブヘビイチゴ。

ワレモコウ（吾亦紅） バラ科

草丈は 0.5～1m。葉は 10 個前後の小葉からなる。花は暗赤色で楕円形の塊となる。自生地は 1 か所のみ。花期は 8～10 月。

オヘビイチゴ（雄蛇苺） バラ科

水田の畔などやや湿り気のある所に自生。葉は 5 小葉からなる。茎は倒れて広がる。花は黄色。赤い実はつけない。花期は 5～7 月。

フユイチゴ（冬苺） バラ科

常緑のつる植物。茎にはまばらにトゲがある。地面を這いまわる。花は白色で、果実は冬に赤く熟する。花期は 7～9 月。

キンミズヒキ（金水引） バラ科

草丈は 0.4～0.9m。羽状複葉で小葉は大小入り混じる。花穂を伸ばし小さな黄色の 5 弁花をつける。花期は 7～10 月。

クサイチゴ（草苺）　バラ科

落葉する小低木。枝にはまばらにトゲがある。葉は 3 または 5 小葉からなる。花は白色。
花期は 4〜5 月。

ヒガンバナ（彼岸花）　ヒガンバナ科

秋の彼岸頃、地面から突然に高さ 50〜70cm の花茎をのばして赤色の花をつける。花の終わったあとに細い葉がのびてくる。花期は 9 月。

コヒルガオ（小昼顔）　ヒルガオ科

ヒルガオに比べ、葉や花は小型。葉はほこ形で先は尖る。花柄にはヒレがある。地中に白色の根茎を伸ばし広がる。花期は 3〜6 月。

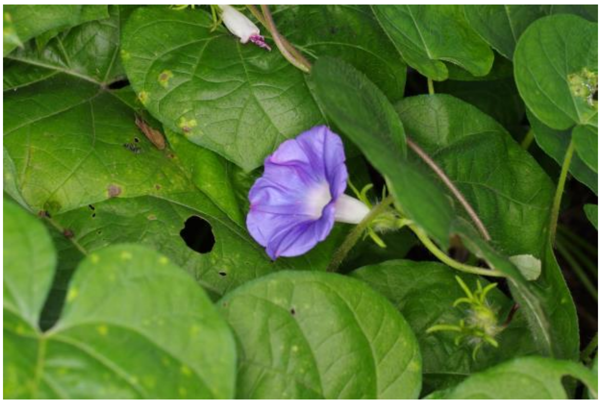
マルバルコウ（丸葉縷紅）　ヒルガオ科

五角形でロート型の小さな朱色の小さな花をいっぱいつける。
花期は 8〜10 月。

ホシアサガオ（星朝顔）　ヒルガオ科

花柄が長く、花は五角形で薄いピンク色、中心部は色が濃い。南米からの外来種。
花期は 7〜9 月。

マルバアサガオ（丸葉朝顔）　ヒルガオ科



葉はほぼ円形で先端部のみがとびだす。花色は紅、青、白などいろいろある。
花期は 7〜9 月。

マメアサガオ（豆朝顔）　ヒルガオ科

ホシアサガオに似るが、花はやや小さく、白色～薄いピンク色。北米からの外来種。
花期は 7～9 月。

ネナシカズラ（根無葛）　ヒルガオ科

寄生植物でいろいろな植物に寄生する。短い花穂の周りに白色の花をつける。葉は退化して微小。花期は 8～10 月。

ヤブガラシ（藪枯らし）　ブドウ科

つる性で他の植物を覆い隠すように繁茂する。葉は５小葉からなる。花茎には多くの花がつき、昆虫がよく集まる。花期は６～8 月。

ノブドウ（野葡萄）　ブドウ科

つる植物。葉の形は、三角形のもの、裂けるものなど変化がる。果実は球形で熟すると黒紫色になる。花期は 7～8 月。

ゲンノショウコ（現の証拠）　フウロソウ科

草丈は 30～50cm。葉は手の掌状で 3 つに分かれる。西日本では赤花が多いが東日本では白色が多い。花期は 7～10 月。

アメリカフウロ（アメリカ風露）　フウロソウ科

草丈は 10～40cm。葉は手の掌状で細かく裂ける。淡紅白色の花をつける。花後長い莢ができる。近年増えている。花期は 5～9 月。

ベンケイソウ科
コモチマンネングサ（子持ち万年草）

葉は多肉でやや扁平。多年生で湿地を好む。花は、葉の基に小さな芽ができ、落下して増える。花期は 5～6 月。

コナギ（小名木）　ミズアオイ科

心形の葉をつける。葉よりも低い位置で短い花茎に 5～6 個の青紫色の花をつける。水田雑草として嫌われている。花期は 9～10 月。

カスマグサ（カス間草）　マメ科

つる性で、小さな淡青紫色の花を花柄の先に２個つける。少ない。
花期は 4～5 月。

ヤハズソウ（矢はず草）　マメ科

淡紅色の小さな蝶型の花を葉のわきにつける。地面を這うように広がる。
花期は 8～10 月。

カラスノエンドウ（烏野豌豆）　マメ科

つる性で紅紫色の蝶形の花をつける。豆さやは細長く、熟すると黒くなる。生育は旺盛で蔓はよく伸びる。花期は 3～6 月。

スズメノエンドウ（雀野豌豆）　マメ科

つる性で白紫色の蝶形の小さな花をつける。カラスノエンドウに比べると葉はかなり小さい。豆果は 2 個。花期は 3～6 月。

レンゲソウ（蓮華草）　マメ科

花柄の先に紅紫色の蝶形の花を輪状につける。やや湿った所に多い。集団で咲くのでよく目立つ。花期は 4～6 月。

メドハギ（筮萩）　マメ科

草丈は 60～100cm。黄白色の蝶形の花で、花弁の一部が紫色の斑となる。茎は直立するが強くはない。花期は 8～10 月。

ミヤコグサ（都草）　マメ科

鮮黄色の蝶形の花をつける。葉は地面を這うように広がり花柄は立ち上がる。それほど多くない。花期は 4～10 月。

コメツブツメクサ（米粒詰草）　マメ科

草丈は 20～40cm。米粒くらいの黄色の花が球状に集まる。葉は地面を覆い隠すように四方に広がる。花期は 5～7 月。

シロツメクサ（白詰草）　マメ科

白色の蝶形の花が球形の塊になる。別名はクローバ。葉は 3 葉で地面を覆うように広がる。
花期は 5～8 月

ウマゴヤシ（馬肥し）　マメ科

茎は根元から枝を四方に伸ばし 40cm くらいに広がる。花は黄色で、花後に渦巻き形で棘のある果実がつく。花期は 4～6 月。

クスダマツメクサ（くす玉詰草）マメ科

草丈は 20～40cm。コメツブツメクサに似るが、玉状の花房は大きく、淡黄色。少ない。
花期は 5～7 月。

ムラサキツメクサ（紫詰草）　マメ科

草丈は 20～70cm。アカツメクサとも言う。茎は立ち上がり、淡紅色の花をつける。
花期は 6～8 月。

ヤブツルアズキ（藪蔓小豆）マメ科

黄色で花の中央に爪形の花弁がある。蔓草で湿地や自転車道沿いに繁茂。
花期は 8～9 月。

（ヤブツルアズキ）

豆莢は細長く、アズキ型

ノアズキ（野小豆）マメ科

黄色で花の中央に爪形の花弁がある。ヤブツルアズキに似るが、葉の形が若干異なる。
花期は 8～9 月。

（ノアズキ）

豆莢は短くて平たく、エンドウ型。

マメ科

アレチヌスビトハギ（荒地盗人萩）

草丈は 50～100cm。淡紅色の蝶形の花をつける。外来種で自転車道沿いに見られる。豆莢は 3～6 節ある。花期は 8～9 月。

ヌスビトハギ（盗人萩）　　　マメ科

草丈は 60～120cm。淡紅色の蝶形の花をつけるが、アレチに比べて小さく白っぽく見える。豆莢は 2 節。花期は 8～9 月。

ツルマメ（蔓豆）　　　マメ科

紅紫色の蝶形の花をつけるが、長さは 0.5～0.8cm。蔓性で湿地に繁茂している。葉は長楕円形で 3 複葉。花期は 8～9 月。

（ツルマメ）

豆莢はやや扁平。莢の全面に黄褐色の毛が密生し、エダマメの小型版。種子は 2～4 個。

ヤブマメ（藪豆）　　　マメ科

紅紫色の蝶形の花をつける。花弁の長さは 1.5～2cm。林縁部に生える。葉はダイズ型で幅が広い。花期は 9～10 月。分布：BC、CY

（ヤブマメ）

豆莢は扁平、莢の縁に沿ってねた毛が並ぶ。種子は通常 3 個。

マルバハギ（丸葉萩）　　　　　　**マメ科**

草丈は 1～2m。草本状の小低木。小葉の先端は丸い。赤紫色の蝶形の花をつぎつぎにつける。
花期は 8～10 月。

ネコハギ（猫萩）　　　　　　**マメ科**

茎は地を這うように広がる。茎上に３枚の複葉が連なり、葉のつけねに白色の蝶形の花がつく。花期は 7～9 月。

コマツナギ（駒繋ぎ）　　　　　　**マメ科**

草丈は 50～90cm。草本のように見えるが小低木。淡赤紫色の花を穂状につけて咲きあがる。
花期は 7～9 月。

クサネム（草合歓）　　　　　　**マメ科**

草丈は 50～80cm。淡黄色の蝶形の花をつける。葉は羽状複葉。湿地に見られるが少ない。
花期は 7～10 月。

クズ（葛）　　　　　　**マメ科**

秋の七草の一つ。紫赤色の蝶形の花をつける。蔓性で生育は非常に旺盛で回りの草花を覆い隠す。花期は 7～9 月

クララ（眩草）　　　　　　**マメ科**

草丈は１m。葉は羽状複葉でハギに似る。枝先に淡黄色の多数の蝶形花をつける。
花期は 6～7 月。

キュウリグサ（胡瓜草）　ムラサキ科

草丈は10～30cm。小さな楕円形の葉をつけ、花穂は長く伸び、下から順次開花する。花色は淡青紫色でのど元は黄色。花期は3～5月。

ハナイバナ（葉内花）　ムラサキ科

草丈は 10～15cm。葉のわきに淡青紫色の花をつけるが、のど元は白色。それほど多くない。花期は3～10月。

ミツガシワ（三槲）　ミツガシワ科

湿地に生えて地下茎で広がり、3枚セットの葉をのばす。長さ 20～40cm の花茎に白い花をつける。花期は5～8月。外部からの移入植物

ユキノシタ（雪の下）　ユキノシタ科

地表面をランナーを出して広がる。湿った日陰に群生する。花は白色5弁で、2枚は大きく、3枚は小さく紅色の斑点がる。花期は5～7月

ヨウシュヤマゴボウ（洋種山牛蒡）　ヤマゴボウ科

草丈は高く、1～2m。茎は太く、赤みを帯びる。小さな白色の花をつけ、果実はブドウ状に並び熟すると黒紫色になる。花期は6～9月。

ヤマノイモ（山の芋）　ヤマノイモ科

つる性で、葉は心形で他の植物に巻きついて。小さな白い花をいっぱいつける。肥大した根は食用になる。花期は8～9月。

キチジョウソウ（吉祥草）　　　ユリ科

ヤブランに似た細い葉が株元から立ち上がる。花穂も株元から伸び、紅紫色の花をつける。自生地は一か所。花期は 9〜10 月。

コバギボウシ（小葉擬宝珠）　　ユリ科

株は小さく、細い葉をつける。株元から花穂を伸ばし、数輪の淡紫色の花をつける。林縁部の湿地で自生。花期は 7〜9 月。

ショウジョウバカマ（猩々袴）　ユリ科

幅 2cm 前後の葉が株元から四方に伸びだす。林内の湿地に自生するが、あまり多くない。

（ショウジョウバカマ）

株元から花茎を伸ばし、その先端に淡紫色の花を 3〜4 個つける。
花期は 4〜5 月。

タカサゴユリ（高砂百合）　　　ユリ科

草丈は 04〜0.7m。茎の先端に白色のラッパ形の花を数輪つける。小さな種をまき散らし、増殖しやすい。花期は 7〜9 月。

ソクシンラン（束心蘭）　　　　ユリ科

葉は根元から四方に広がる。30〜50cm の花茎を伸ばし、まわりに小さな白色の花が並ぶ。少ない。花期は 4〜5 月。

ヤブラン　　ユリ科

葉は長さ 30～50cm、幅 7～12mm。木の木陰に生える多年草で、大株になる。花は淡紫色。花期は 8～10 月

コヤブラン　　ユリ科

ヤブランに似るが、葉の幅は 4～7mm で、根茎が横に延びて広がる。花は淡紫色でまばら

ジャノヒゲ　　ユリ科

葉は長さ 10～20cm、幅は 2～3mm。細い根茎長く延び、根はところどころコブのようになる。花は淡紫色。花期は 7 ～8 月。

ツルリンドウ（蔓竜胆）　　リンドウ科

つる性で茎は黒紫色でものに巻きついてのぼる。葉の付け根に淡紫色の釣鐘型の花をつける。少ない。花期は 8～11 月。

ネジバナ（捩花）　　ラン科

数枚の細長い葉が株元にある。高さ 10～30cm の花茎を伸ばし、花穂に淡紅色の花が螺旋状に多数つく。花期は 6～8 月。

メヒシバ（雌日芝）　イネ科

草丈は 40～70cm、茎は地面を這い、節から根をおろす。茎には 3～8 個の花穂を放射状につける。花期は 7～10 月。

アキメヒシバ（秋雌日芝）　イネ科

メヒシバに似るが、茎は束になって基部から立ち上がる、花穂は小さい。
花期は 8～10 月。

オヒシバ（雄日芝）　イネ科

茎はやや太く、草丈は 30～60cm。葉は中央脈によって 2 つ折りになる。茎の先は 2～6 個に枝分かれして花穂をつける。花期は 8～10 月。

チカラシバ（力芝）　イネ科

草丈は 30～80cm、葉は根元から伸び、大きな株になり、ブラシ状の花穂が立ち上がり、黒紫色の剛毛がある。花期は 8～11 月。

チガヤ（茅）　イネ科

草丈は 30～80cm。明るい草地に自生。花穂は長さ 10～20cm、長い銀白色の毛が密生する。花期は 5～6 月。

チヂミザサ（縮み笹）　イネ科

草丈は 30～40cm。湿地に自生し、笹のような葉をつける。白緑色の花穂をだし、種子はズボンに付着しやすい。花期は 10～11 月。

エノコログサ（狗尾草）　　イネ科

草丈は 40～70cm。茎の先に長さ 3～8cm の緑色の花穂をつける。花穂は直立または斜行し垂れない。花期は８～９月。

アキノエノコログサ（秋の狗尾草）　イネ科

エノコログサによく似ているが、花穂はやや太く、長く、先が垂れ下がる。小花の先が開いている。花期は８～11 月。

キンエノコログサ（金狗尾草）　イネ科

草丈は 50～90cm。エノコログサと同じように太い花穂をつけるが、花穂の剛毛は黄金色。花期は８～10 月。

コバンソウ（小判草）　イネ科

草丈は 30～60cm。茎の先から花穂を伸ばし、長さ 1～2cm の小判のような小穂（小さな花が 7～18 個集まる）をつける。花期は 6～7 月。

スズメノテッポウ（雀の鉄砲）　イネ科

草丈 20～40cm。水田など湿地に群生する。茎の先から円柱形の花穂を伸ばす。
花期は 4～6 月。

ススメノカタビラ（雀の帷子）　イネ科

草丈 10～25cm。何処にでも自生し、冬でも青々し、早春から淡緑色の花穂をつける。
花期は 2～10 月。

ヌカキビ（糠黍）　イネ科

草丈 30～80cm。湿地に群生する。花穂は大きくて、細かく分岐して淡緑色の小穂をつける。花期は 7～10 月。

サヤヌカグサ（鞘糠草）　イネ科

草丈 50cm。湿地に自生する。茎は細くて横に這う。立ち上がった茎の先に 2～3 本の緑色の小穂をつける。花期は 8～10 月。

イヌビエ（犬稗）　イネ科

草丈は 0.6～1.2m。茎の先端に花穂がつき、緑色の小穂がびっしりつく。
花期は 8～10 月。

ケイヌビエ（毛犬稗）　イネ科

イヌビエの変種で、小穂の先に長いノギ（細く長く伸びた毛）がつく。

メリケンカルカヤ（米利堅刈萱）　イネ科

草丈は 0.5～1.2m。茎はかたまって直立し、葉の間から短い白色の長毛のある花穂が出る。花期は 9～10 月。

ジュズダマ（数珠玉）　イネ科

湿地に自生し、草丈は 2m に達する。上部の葉の間から枝が出て、丸い壺形の葉（果実のように見える）がつく。花期は 7～9 月。

シマスズメノヒエ（島雀の稗）　イネ科

草丈は 50～100cm。花茎は立ち上がり、枝分かれして 3～7 個の小枝に分かれる。各枝には小穂が 3～4 列に並ぶ。花期は 8～10 月。

タチスズメノヒエ（立雀の稗）　イネ科

シマスズメノヒエに似るが、草丈が真っすぐに伸びて高い。分岐した枝の長さが長い（2 倍）。皆伐地に侵入直後？　花期は 9～10 月。

ススキ（薄）　イネ科

草丈は 1～2m。株立ちし、ざらついた葉（手が切れる）を広げる。1 本の花穂から多数の枝分かれし、小穂をつける。花期は 8～10 月。

ヨシ（葦）　イネ科

池の中に自生し、草丈は 1～3m。太い根茎が地中を這いまわって広がる。大きな円すい形の花穂をつける。花期は 8～10 月。

カラスムギ（烏麦）　イネ科

茎は直立し、高さは 0.3～1m。まばらに小穂をつけ、2 つの小花（長いノギがある）をつける。花期は 5～7 月。

カニツリグサ（蟹釣り草）　イネ科

草丈は 40～70cm。道端に普通に見られ、花穂は淡黄褐色で少し光沢がある。
花期は 5～6 月

カモジグサ（髢草）　イネ科

草丈は 50～100cm。草原や道端に普通に生えている。穂は緑白色であるが、のぎは紫色で長い。花期は 5～７月。

アオカモジグサ（青髢草）　イネ科

草丈は 50～100cm。草原や道端に多い。穂は淡緑色でのぎも同色。穂の表面に短い毛があり、内えいは護えいより短い。花期は 5～7 月。

ネズミムギ（鼠麦）　イネ科

草丈は 40～70cm。草原や道端に普通に生えている。小穂は扁平で花軸に対して２列に並ぶ。穂先には長いのぎがある。花期は 6～8 月。

ネズミホソムギ（鼠細麦）　イネ科

ネズミムギとホソムギの中間種で、ネズミムギと混生している。穂の先にはのぎがない。
花期は 6～8 月。

イチゴツナギ（苺繋）　イネ科

草丈は 30～80cm。畑の周りに普通に生えている。穂は緑白色で小さな小穂がいっぱいつく。葉舌は長い。花期は 5～6 月。

ミゾイチゴツナギ（溝苺繋）　イネ科

草丈は 40～50cm。林の周辺、溝の近くなどやや日陰に多い。小穂はまばらにつき、ややひ弱い感じがする。花期は 5～７月。

オニウシノケグサ（鬼牛の毛草）イネ科

草丈は 40～160cm。草原や道ばたに生える。花穂は長く 20～30cm で、小穂の先はとがり、わずかに紫色を帯びる。花期は 5～7 月。

イヌムギ（犬麦） イネ科

草丈は 80～150cm。茎は太くて（基部近くでは 1cm）、束になって生える。小穂は大きく、数は少ない。花期は 4～6 月。

トボシガラ（点火茎） イネ科

草丈は 30～50cm。林のへりに生え、葉は細くて弱々しい感じ。小穂はぱらぱらとつき、先が垂れ下がる。花期は 5～6 月。

オオスズメノカタビラ（大雀の帷子） イネ科

草丈は 30～80cm。道端に生える。小穂の数は多いが、小穂は 2-～3 個の花からなり小さい。節間はざらつく。花期は 4～6 月。

ヒメコバンソウ（姫小判草） イネ科

草丈は 10～50cm。花穂の先は細かく枝分かれし、淡緑色の三角形の小穂が垂れ下がる。花期は 5～6 月。

キシュウスズメノヒエ（紀州雀の稗） イネ科

草丈は 20～40cm。湿地や浅い水の中で生え、茎は横に長くのび、節から根をおろす。花穂は二股に分かれる。花期は 7～9 月。

ニワホコリ（庭埃） **イネ科**

草丈は 10～25cm であまり目立たない。空き地や駐車場のような開けた場所に多い。小穂は紫色をおびる。花期は 8～10 月。

カゼクサ（風草） **イネ科**

草丈は 30～80cm。空き地や道端に群生する。花穂は直立し、多数の紫紅色をおびた小さな小穂をつける。花期は 8～10 月。

セイバンモロコシ（西播蜀黍） **イネ科**

草丈は高くて 1～1.8m。ススキのように茎は太くて葉は幅が広い。黄褐色の艶のある穂をつける。花期は 8～10 月。分布：佐保

カモガヤ（鴨茅） **イネ科**

草丈は 50～120cm。小穂は緑色で大きく、かたまり状になってつく。別名はオーチャードグラス（牧草）。花期は 7～8 月。

ネズミノオ（鼠の尾） **イネ科**

灰色の花穂が細長く立ち上がって 50～90cm にもなり、軸の周りに小穂がつく。花の茎は丈夫で引きちぎりにくい。花期は 9～11 月。

アゼガヤ（畔茅） **イネ科**

草丈は 30～70cm。休耕田や湿地にはえる。穂にはたくさんの横枝がつき、小穂は初めは淡緑色だが赤紫色になる。花期は 8～10 月。

イ（藺）　イグサ科

湿地に自生する。緑色の細い円柱形の茎が直立し、草丈は 0.7～1m になる。茎の中間部に緑褐色の花の塊をつける。花期は 8～10 月。

ヤマスズメノヒエ（山雀の稗）　イグサ科

草丈は 20～40cm。花茎の先端で枝わかれして数個のスズメノヤリの花穂より小さい花穂をつける。花期は 5～7 月。分布：BC

スズメノヤリ（雀の槍）　イグサ科

草丈は 10～25cm。細長い葉と花柄は地際から伸びる。たくさんの褐色の花が集まってマリ状になる。花期は 4 ～6 月。

カヤツリグサ（蚊帳吊草）　カヤツリグサ科

湿地に自生し、草丈は 30～40cm。茎の先に 3 ～5 個の長い葉をつける。分岐した茎の先に黄褐色の花穂がつく。花期は 8～10 月。

クサイ（草藺）　イグサ科

草丈は 30～60cm。茎は束になって直立し、草原に自生する。茎の先に葉がつきそこに花がつく。花期は 5～9 月。

タマガヤツリ（玉蚊帳吊）　カヤツリグサ科

湿地に自生し、草丈は 25～60cm。茎の先に 2 ～3 個の長い葉がある。茎の先に 1cm 前後の暗緑色の丸い花の塊をつける。花期は 8～9 月。

ヒデリコ（日照子）　　カヤツリグサ科

湿地に自生し、草丈は 20～40cm。細かく分かれた茎の先に、小さな褐色の花穂がつく。花期は７～10 月。

ナキリスゲ（菜切菅）　　カヤツリグサ科

林内の乾いたところに自生する。草丈は 40～80cm で、茎の先が枝分かれし、黄褐色の花穂をつける。花期は 8～10 月。

コアゼガヤツリ（小畔蚊帳吊）　　カヤツリグサ科

湿地に自生し、草丈は 20～30cm。茎の先に 1～3 個の長い葉をつける。分岐した茎の先に淡黄色の花穂をつける。花期は 8～11 月。

アオスゲ（青菅）　　カヤツリグサ科

道のへりに生え、草丈は 10～40cm で株立ちする。穂はやや長く、実はとがらない。花期は 4～７月。

ヒメクグ（姫莎草）　　カヤツリグサ科

田の畔など湿地に自生し、草丈は 5～20cm。茎の先に直径 8mm 前後の球形の淡緑色の花の塊が 1 個つく。花期は 7～10 月。

アゼナルコ（畔鳴子）　　カヤツリグサ科

湿地に生える。草丈は 40～70cm。長い穂が垂れ下がる。穂の元の方に雄花、先の方に雌花がつく。花期は 5～6 月、

クロカワズスゲ（黒蛙菅）　カヤツリグサ科

草丈は 10～30cm。地下茎を横に延ばす。真っすぐに立った堅い茎の先に褐色の穂（小穂が 3～5 個かたまる）をつける。花期は 4～5 月。

モエギスゲ（萌黄菅）　カヤツリグサ科

草丈は 20～40cm。茎の先に 3～5 個の小穂がつくが、ほとんど同じところにつくのが特徴。花期は 4～5 月。

マスクサ（升草）　カヤツリグサ科

草丈は 20～70cm。葉は茎上につき、上方の葉の基部に 1 個ずつ緑色の小穂がつく。花期は 5～7 月。

ｼﾞｭｽﾞスゲ（数珠菅）　カヤツリグサ科

草丈は 30～60cm。茎と葉はかたまっている。葉の幅が広い（5～10mm）。小穂は長さ 2～3cm で、2～4 個。花期は 4～6 月。

ゴウソ（郷麻）　カヤツリグサ科

草丈は 30～50cm。茎の先に長さ 2～4cm の小穂が 3～4 個ぶら下がる。あぜ道のほとりや湿地に生える。花期は 5～6 月。

ヤワラスゲ（柔菅）　カヤツリグサ科

やや湿ったところに生え、草丈は 30～50cm。穂は短くてやや幅広で、先のとがった実がつく。花期は 4～6 月。

ガマ（蒲）　　　　　　　　　　**ガマ科**

ならやま西池に自生し、草丈は 1.5～2m。細長い葉の間から花柄を伸ばし、幅 2cm、長さ 15～20cm の円柱状の花穂をつける。花期は 6～8 月。

スギナ（杉菜）　　　　　　　　**トクサ科**

草丈は 30～40cm。葉のように見えるものはすべて茎。地下茎で広がり、ツク

　ツクシは繁殖のための胞子茎で傘の下から胞子をまき散らす。出現期は 3～4 月。